

「見るところ多いなあ」



夏休み中に「一日ちびっ子記者」をしてみて、阿知須の中をまだまだ知らないことが多いと思った。しかし、思い出にのこの一日でもあった。大人になって、また、まわってみたいと思う。



豆記者の町内見学

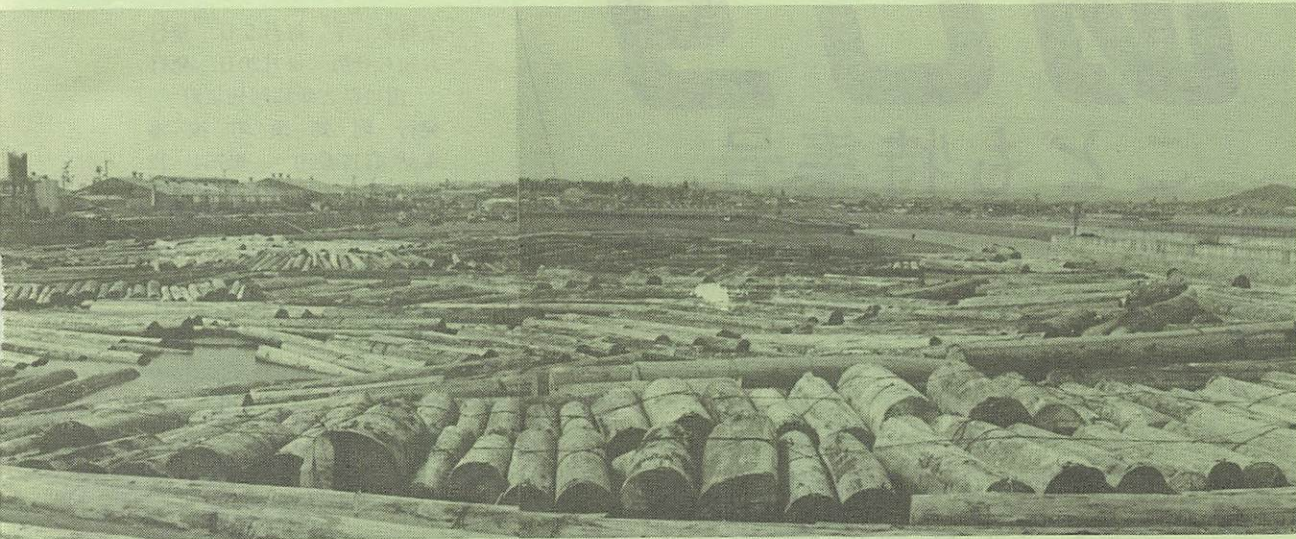
ウヘー 阿知須にこんなに見るところがあったのか……知らんじやった。たった一日の見学じゃったが、びっくりした。

「合板工場、合板工場」っていうが、あんな大がかりな会社とは思わんじやった。大きな材木から次々と板ができて上っていく機械と一しよに休まず働いている人たちは大変だなあ。ごくろうさま。

丸塚古墳（まるづかこふん）にもびっくりした。ぼくの重さの十倍、いや百倍ぐらいかな。とても大きい石でできた横あな式のお墓（はか）。機械のない時代にどうして、あんなに大きな石を積み上げたのだから。ふしぎでならない。

ぼくらが見た

郷土の産業・歴史



合板工場の全景（手前が貯木場）

今月は子ども広報をおとどけします。本町でははじめてのことです。豆記者を先月号で募集したところ、五人の参加がありました。五年生一人、六年生四人（うち一人女子）です。この五人が夏休みのある日、おかあさんといっしょに町内を見てまわりました。

見学場所は十四か所です。その中で、自分のいちばんきょうみをもったところについて書いてもらいました。

木材をけずってベニヤ板

人と機械でつぎつぎできる

井関小五年
兼重 顕治

若山産業は、最初、石炭を掘り出す会社だったそうです。昭和三十八年九月一日から現在の場所までベニヤ板工場を始めました。従業員は、現在三百五十人ぐらいです。一ばん多いときには四百五十人ぐらい働いていたようです。

この工場では一か月に百五十万枚のベニヤ板をつくる力があります。できあがった板は沖なわや北陸方面までトラックで運ばれます。原料の（ラワン）木材は南方から船で運んでくるそうです。

その回数は年に四十回ぐらい。船や木材の大きさにもよるが、一回に三百本ぐらいのことで、一本の大きさはぼくらたち二

人が手をつないでやつとたうようなものもあります。長さは八メートルぐらいです。

阿知須沖は「山口港」といって外国からの船が入り出できる。資材をもち、木を消毒することもできる港です。

木材を積んだ船は工場からおよそ千メートル沖に泊まっています。ここで木材を海におろし、イカダをくんで工場そばの貯木場まで運ぶのです。ここで、木にいる虫などをころしてから機械にかけられます。

ベニヤ板の作り方は、その木をぐるぐるまわしながらうすくけずって、たての目と横の目のりて交こにはりつけ、機械でおしつけるとでき上ります。

厚さは二・四ミリから二四ミリまであります。もよう入りの板はビニールなどのシートに印さつたのをはりつけます。そ

れを、けしよう合板」というのですが、ここでもつくられています。

ぼくは、この見学で初めてベニヤ板が出来るまでを知りました。大きな木が、多くの人の手とすごい機械で、つぎからつぎへとできる様子を見てとても感心しました。

阿知須小六年
西村 尚城

ぼくが町広報の豆記者として町内をまわって、一番おもしろかったのは、若山合板の工場です。

工場に入る前は、ここで鉄鋼などを作っているとはかり思っていました。原木をインドネシア、マレーシアなどから輸入していると聞いたときなかなかやるなあと思いました。

それに、木の中にいる害虫をころすために、海水の中に一か月つけて、また上から薬で消毒するというのもはじめて知りました。

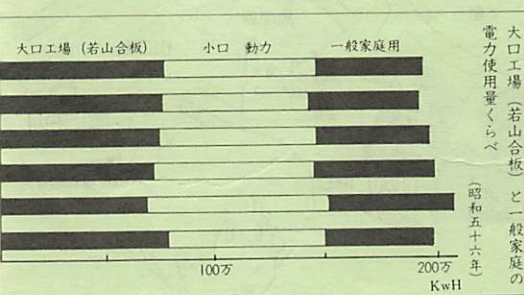
むかしの人が 住んだ貝がら山

阿知須小六年
竹原 尚子

貝がら山から、むかしの土器などが出てくることは、知っていました。でも、どんな所か、どんなものが出てくるかは、あまり知りませんでした。

貝がら山の遺せきがある所はとて山おくて、道が悪く、車で行くのにタイヤがスリップしたりして、たいへんでした。だから、約二千年前に、ここに人が住んでいたことが、信じられません。そこには貝がらがたくさんありました。標高八十二メートルのところ。むかしは近くまで海であったことが想像できます。山の登り降りもたいへんだらうなあと思います。

貝がら山に登って、私は人々がどんな暮らしをしていたのか、食べ物や家はどうしていたか、もっと知りたいと思いました。





ここを見学しました

今回は、社会科見学のために町内の産業や歴史に関係あるところを主にまわりました。見学したところは次のところ

- ①若山産業合板工場(小古郷)
- ②合同納骨塔(岡山)
- ③お姫さま松(引野)
- ④黒谷ため池(引野)
- ⑤貝がら山(引野)
- ⑥青岳(青畑)
- ⑦江畑ため池(源河)
- ⑧石粉の出る地層(河内)
- ⑨たくあん加工場(岩倉上)
- ⑩堆肥センター(岩倉上)
- ⑪養豚場(岩倉上)
- ⑫花崗岩の採石場(丸塚)
- ⑬丸塚配水池(丸塚)
- ⑭塚穴(丸塚一帯)

町内で使う一日分以上

丸塚山配水池に入る水

井関小六年
鈴川慎一郎

多くの家の二階から、丸つか山配水池がよく見えます。工事が始まってから、だんだんでき上って行く様子を見ながら、家族の者と水道について話しをしたことが何度もありました。

夏休みに入って、この丸つか山に登りました。高さは五十メートルですが、高い山だなあと思いました。ぐるっと見まわすと、青い海、緑がいっぱいの阿知須のまちや井関校区が見えてとてもすばらしいながめてました。

この配水池の底は高さ四十

八メートルのところにあるそうです。樫野川(ふしのがわ)の水をくみあげ、山口市朝田にある山口小郡広域水道企業団(こ

ういきすいどうききょうだん)のじょう水場で消毒されたのが送られてきます。ぼくたちが見学したときには、水がいっぱい入っていました。

このタンクは、直径およそ二十メートル、高さ九メートルあり、この中に二千立方メートルの水が入るようになっていきます。ドラムかん一万本に当たります。いま、町内で一日に千三百立方メートルぐらい使われているの

で、このタンクにいっぱい入れておくと、一日では使いきれない計算です。工事は五十六年十月から始まり、七千七百八十万円の使用がかりました。

八月三日からこの水が使われるようになりました。阿知須町では、これまで、町内二か所の井戸からくみあげる水と、宇部市から分けてもらった水を使っていた。しかし、樫野川の水を使うようになって、井戸の水はもう使わないそうです。

阿知須町で水道を使っている家は千三百八十六戸あるのとことです。このようにして配られている水を、みんなが大事に使おうに心がけなくてはと思いました。

豚の多いのに感心

阿知須小六年
平岩奉文

岩倉上にある養豚場を見学しました。小屋は六、七むねありました。近づいて豚の鳴き声がしないので不思議に思ったら、昼ねをしているのでした。ぼくの身体は五倍ぐらいありそうな豚や、生まれて間もないものなどたくさんいました。何十頭、いや何百頭いるか数えきれないほどでした。

小屋の中もまわりもとてもくさくてあまりませんでした。鼻をつまんで奥に入ると生まれて一日目ぐらいの子豚がいました。色はピンクで、とてもきれいに

見えました。親豚は、毛がよくなっていました。子豚も大きくなるとこんなによごれるのかと思うと、かわいそうでした。大きなおなかをした豚もいました。黒い色をした親豚も何頭かいました。阿知須でこんなに多くの豚がかわれているのはじめて知りました。

この小屋から少しはなれたところにある堆肥センターも見ました。木をけすつたおがくずやのこくずが山のように積んでありました。豚の小便などをまぜ合わせて肥料をつくるのだそうです。暑い日だったので、ここでもにおいがとてもひどく、みんなが「ああくさつ」といって顔をゆがめました。でも、こうすることで、小便のしよりがで

夏休みの成果を

二学期に生かそう

長い夏休みも終わりに近づき、間もなく二学期が始まるうとしています。四十日にわたる家庭を中心とした比較的に自由な生活の中で、児童の皆さんは、いったい何を学び、何を得ましたか。ここらあたりで夏休みの歩みを、整理しながら、反省してみようではありませんか。

さて、皆さんは、夏休みを迎えるにあたり、いろいろな計画を立てていたはずですが、はた

して、その計画が思いどおりに実行できたでしょうか。夏休みの反省のめやすとして、夏休みの日記などを、もう一度整理してみましよう。そして一日一日をチェックし、×○をつけてみ

今からでもおそくはない。勉強のこと、身のまわりのこと、整理し、改めることを、決してためらってはけません。勇気をもってあたりましよう。夏休みの過ごし方の良し悪し

機に、大きく変わり、大きく成長しているものです。その成長ぶりを見逃がすことなく、ひとつだけでもよい。認めてやるよう努めて欲しいものです。子どもたちは、再び学校を中心とした生活をおくるにふさわしい規律ある生活に早く切り替えがで

るよう、援助の手をさしのべてやりましよう。

今日の一つは
明日の二つにまざる
(フランクリン)

阿知須小学校長

兼重 一

56年10月
11月
12月
57年1月
2月
3月

こん虫を採集しませんか

カメもスズ虫もいます 井関・岡山一帯で育つ

こん虫やホタルをあちこちにはなしている工藤太作さん(築地・五八歳)は「ホタルおじさん」「すず虫おじさん」とも呼ばれています。その工藤さんは、町内の川や野原にいろいろな貝や魚、こん虫が育つようにつとめてこられました。ことしで五年目になるので数多く育っているそうです。工藤さんはこん虫採集をしてくださいと町教育委員会に申し出られました。



放流場所は赤迫から役場まで井関川一帯。
魚の「タナゴ」、かめの「リュウキュウヤマガメ」、貝「マガイ」「シジミ貝」。こん虫

成人おめでとう

二十歳のおにいさん・おねえさん

わが国の法律(ほうりつ)では満二十歳になると「成人」となりおとなだときめています。成人すると国や県市町村が行う選挙で投票することができ、悪いことをしてもおとなとしてのばつを受けます。きまり、約束ごととおとなとして守り、つとめをはたさなければなりません。

この二十歳になった人たちをみんなて祝ってあげようというのが「成人式」です。阿知須町主催の成人式は八月十五日に町公民館で行われました。

去年までは二月十五日の成人の日に行われていましたが、ことしから、お盆の集りやすい日になりました。今回は去年の春高校を卒業した人と同じ学年の人たちが出席しました。これにあてはまる人は百四人で、このうち出席者は八十四人でした。着物を着て出席した人は一人もありませんでした。

次のおにいさん・おねえさんがここの成人者です。
福本正利、古浜むつみ(小東) 繩中巧、浅海真一、石田徹(小西) 古浜里美、安永利幸、田中伸厚(小南) 河村真由美、岡屋

久枝(前山) 部坂万里(北祝) 金本岳司、竹本博史、金本保子、宮本恵一郎、酒井寿子、大和洋子、大下一実、村重勉(南祝) 田中八重美(恵比須) 岡村敏志、繩吉良樹(築地) 山根康夫、竹本暢子、藤重辰恵(東) 中井則男、松木伸道、福増千賀子、大野美樹(繩南) 山崎康弘、中村淳二、真重竜一(繩北) 浜中精二、村田泉、叶谷竜二(中村) 福田千里(西条) 広津由美子(寺河内) 野村晃一、古谷保美、大浜優美子、谷正和、玉井幸一、坂野貴子、小野雅子、塩部文彦(浜) 磯金道子、山田智代(砂一) 川野泰司、西村聖志、原田敦子、竹代弘之(砂二) 村田真佐枝、徳田義明、西村真由美、小川清広(砂三) 徳本義昭、西田智、大沢由美、吉村小百合、

伊藤淳文(飛石) 坂野和美(沖ノ原) 田辺光男、田辺京子(若西) 井本幸夫、山田誠人(若前) 藤重明美、松崎祐喜子(若西前) 辻田秀樹、上野留美子、辻岡良二(若辻) 上野泰男(若上) 栗田亨、木原宏治(日東) 松田礼子(旦西) 上野真由美、伊藤浩司、山崎裕司、田中みゆき(旦北) 藤井伸芳、藤井俊英(門松) 中野康昭、田中克也、福岡賢治、中野悟(浜表) 大林信、中村真知子、師井忠博、古谷由美子、金井克恵、渡辺明美(赤迫) 中村稔、西村美江(井関) 齊藤高則(野口) 桜井敏幸(杖川) 松永博幸、長尾義明、長尾克也(河内) 国重典子(源河) 大田孝広、国重敏子、小林京子、大田正芳(向井関) 山根重矢(引野) 中村勝彦(仙在)

31日 歯科検診(役・後一時)
23日の予定を変更

優勝は中西チーム

子ども会ソフトボール

子ども会ソフトボール大会で中村・西条チームが初優勝(三十七年夏に西条チーム単独で優勝の記録がある)しました。大会は八月七・八の両日、阿中グラウンドで十五チームが参加

熱戦をくりひろげました。おもな成績は①中西②鴨生原③飛沖④玉川。
投手は女子選手
四試合に登板、磯崎さん
このソフトボール大会で優勝

優勝戦はどうでしたか
鴨生原と対戦しました。練習試合のとき引き分けているので心配でした。延長戦に入ると思っていました。七回裏に十対九でサヨナラ勝ちをしました。とてもうれしかったです。

は岡山合同納骨塔周辺で「マツムシ」「クツワムシ」「カナタタキ」「スズムシ」などです。干拓にも秋の虫がはなしてあるそうです。
採集に当って工藤さんは次のように呼びかけています。
①子どもだけで行かずにおとうさん・おかあさんと一しょに出かけること。

②一人が同じ種類のものをたぐさんとらないこと。
③夜は虫のなくところにあまり手を出さないこと。マムシやハブがおそれがあります。
「リュウキュウヤマガメ」が多いのは鉄橋付近、「マガイ」「タナゴ」は赤迫付近が多いようです。

した中西チームの投手は中学二年の磯崎信子さんでした。試合のようを次のように語ってくれました。
「あなたはピッチャーでしたね。調子はどうでしたか。優勝戦まで四試合ありました。四試合ともピッチャーで出場しました。相手によく打たれましたが、みんなによく守ってもらったので助かりました。打つのは六番でした。」

◆催しもの◆

26日 婦人学級(公・前九時半) 講演会「中高年者のための現代的健康法(公・前十時) あじのす大学(公・後一時半)

27日 小さな親切運動阿知須町支部設立総会(公・後一時)

28日 こども会まつり(公・後一時)

31日 歯科検診(役・後一時)

23日の予定を変更

町役場の位置	東経 131度21分41秒
町の面積	北緯 34度00分35秒
総面積	22.44km ²
干拓地の面積	2.86km ²
主な河川	土路石川 6.3km
主なため池	井関川 6.0km
	万年池 満水面積 0.27km ²
	江畑池 0.15km ²
	黒谷池 0.11km ²

—どんな練習をしましたか
学校ではソフトボール部でセンターを守っています。子ども会の練習は七月二十日から毎朝一時間ずつしました。チームのお世話をされる西中(賢三)のおじさんに、いろいろ教えてもらいました。